

広報



令和に 息づく伝統

五穀豊穰を祈願する伝統の小正月行事が、1月12日に歴史民俗資料館でおこなわれました。この冬は近年稀にみる少雪のため、恒例の「雪中田植え」は矢引沢地区から雪を運んで実施。橋本夏実さん（伏熊）、渡辺杏寿さん（富沢）、地域おこし協力隊の須藤和さんの3人が「早乙女」役を務め、わらと豆がらの束を雪中に差し込んで今年の豊作を祈りました。



特集

未来への提言

令和2年

2

No.708



未来への提言

～町誕生60周年記念事業 子ども議会～

給食で特産品PRを

阿部海瑞希議員 町のや

まがた地鶏のPRのため、町外の小中学校などの給食に出して紹介してはどうでしょうか。また、県内外の物産展への出店や新聞折り込みなどで知名度を上げられないでしょうか。から揚げや親子丼にすれば、子どもにも人気が出ると思います。

町長 本町のやまがた地鶏の生産は、事情により現在休止状態ですが、再開できる設備や環境は整っています。ご提案の給食やPRについてのアイデア、飼育羽数を増やすといった課題については、今後一生懸命努力していきます。

阿部海瑞希議員 町内の

リンゴやラ・フランス、スモモなども、同じく学校給食に出せないでしょうか。

町長 子どものころに味わったものは大人になっても食べたいと思うものなので、町の特産品として、今挙げていただいた果物やくろべ

えなす、やまがた地鶏などを町の学校給食に利用させていただいています。

学校の環境を快適に

清野和議員 大江中学校

の2、3階の水は、夏場生ぬるく、さびの味がしたり、オレンジがかつていたりすることがあります。運動部で毎日汗を流しているみんなも、水道の水を飲みたがりません。みんながもっと活発に部活動に臨み、健康な体をつくっていくために、安全で安心な水にしてほしいです。加えて、各階のフロアの水場とトイレの手洗い場を温水にしてくださいと思います。冬場の清掃をし

つかりするためにも、温水は必要だと思えます。

教育長 大江中学校は建設

から40年以上経っており、水道設備も古くなっています。まずは調査をしたいと思いますが、赤さびが出ない場所を使うことも考えていただければと思います。温水については、まずはお

湯の出る場所を使っていたら、それでも難しいのであれば、また相談していただきたいです。

清野和議員 校内の温水

は基本的に生徒が使用しない場所にあります。また、温水は、丁寧な手洗いや洗浄効果、手荒れ防止にも効果があります。

教育長 予算の関係もあって難しい面もありますが、必要だとすれば調査をして、皆さんの声を聞きながら検討していきます。

高齢者の事故防止を

清野室々議員 今年に入

ってから高齢者の事故が増えていきます。町では、運転免許証を自主返納すると2万円分のタクシー券やデマンドタクシー3年間無料乗車券が交付されるようですが、返納する人は少ないです。そこで、高齢者のバスやタクシーなどの料金を無料にしたり、免許返納の特典を拡充したりできない



町民の声を代弁する議員が集い、まちづくりに重要な役割を果たす町議会。私たちに
 にとって一番身近な議会の「一日議員」となることで子どもたちに町政への関心を持って
 もらおうと、昨年12月22日に「子ども議会」が開かれました。本町では約20年ぶりの
 開催となった今回の子どもの議会には、町内の小中学校・高校に通う11人の児童と生徒
 が、議長・議員として参加。勉強、クラブ活動、部活動……日々濃密な学校生活を送る
 児童・生徒ならではの視点で、多種多様な提言をおこないました。今号では、活発な意
 見飛び交った子ども議会の模様の一部をご紹介します。

※本文中に記載している時期や答弁者の役職などの表記は、子ども議会開催当日（昨年
 12月22日）時点のものです。

でしょうか。

町長 高齢の方は車がない
 と生活が不便ですので、ど
 んな形の応援が良いか考え
 たいです。バスやタクシー
 の無料化は素晴らしいと思
 見ですが、頂いた税金を町
 民一人ひとりに公平に還元
 するという原則に照らして
 研究しないとけません。

清野寧々議員 冬は雪で
 周りが見えづらくなったり、
 路面が凍ったりして、事故
 が起こりやすくなります。
 そのような冬の時期の対策
 を教えてください。

町長 道路には融雪剤をま
 いていますが、それでも気
 候条件によっては凍ります
 ので、急ブレーキ・急発進
 をしない、スピードは控え
 目にする、車間距離は長く
 とるといった運転の仕方を
 心掛けていただきたいです。

食やメディアでPR

松田快政議員 テレビ、
 新聞、町のホームページな
 ど、いろいろな企画で町の

良さを伝えられないでしょ
 うか。例えば、私はカレー

ライスが好きなので、カレ
 ーの中に町の特産のリンゴ、
 ラ・フランス、スモモなど
 を入れてはどうでしょうか。

町長 そのカレーライスに、
 くるべえなすやニンニクを
 入れても面白いのではと思
 いました。「山形ふるさと
 CM大賞」では、昨年本町
 のCMが県内唯一の通算3
 度目の大賞を獲得し、今年
 は「十八才」をテーマにし
 たCMで優秀賞を受賞して
 います。テレビや新聞、C
 Mでの宣伝は、非常に大切
 なことだと思います。

松田快政議員

果物の甘
 さがカレーライスに溶け込
 むと、おいしくなるのでは
 ないでしょうか。他にもい
 ろいろな食べ物で特産品が
 使えると思います。

町長 町内では地鶏を利用
 したカレーなどのレトルト
 食品も販売しています。果
 物を使うのはすごく良いア
 イデアだと思いますので、
 どんなカレーが名物になる

か、どう宣伝するかという
 ことも考えていきたいです。

道路の安全性強化を

柏倉茉莉議員

子どもや
 高齢者などのために、道路
 をもっと安全にできないで
 しょうか。今の歩道は狭く
 て車との距離も近く、事故
 につながると思います。ま
 た、街灯が少ない場所があ
 り、部活動から帰るころに
 は暗くて危険なので、街灯
 を増やせないでしょうか。

町長

道幅については今す
 ぐ広げますとは言えない状
 況ですが、大型車も通るの
 で非常に危険だという声も
 あります。そこで、登下校
 の時間の通行規制、通学路
 を示す標識と標示の増加、
 冬期のこまめな排雪などを
 検討しています。また、大
 型車は国道を通るように各
 企業にお願いすることも考
 えています。街灯の数につ
 いても早速研究してみます。
柏倉茉莉議員 道幅を広
 げるのが困難であれば、除



ほしなたくみ
保科拓海 議員
(大江中学校 2年)



さくらいゆうき
櫻井佑樹 議員
(左沢小学校 6年)



ほしな あい
保科 愛 議員
(本郷東小学校 6年)



さたけかなむ
佐竹叶夢 議員
(大江中学校 2年)



さとうこういちろう
佐藤耕一郎 議員
(左沢高校 2年)



ごとうはやと
後藤颯人 議長
(左沢高校 2年)

施設や遊具の充実を

町長 街灯の数、明るさについても研究して、できるだけ急いで取り組みます。除雪についても、体制を強化できるように努力してみたいと思います。

保科拓海議員

町の人口は年々減少しています。そこで、衣料品店や飲食店、楽しい遊具がある公園やスポーツ施設などをつくれれば、より居心地が良く子育てしやすい町になり、町への移住者も増えると思います。

町長

全国には3〜4千人でがんばっている町が多くあるので、人が足りない分は機械などの力を借りて、今より豊かで幸せな生活にしようという考え方もあります。遊具については、森ノ宮公園やにじいろ保育園などにもっと取り入れる必要があると考えています。

保科拓海議員

若い人たちが戻ってきたと思う魅力ある町にするために、どんな対策をしていますか。

町長

遊び場、体育施設、勉強できる場所、商業施設、医療機関などさまざまな要望がある中、町としてできることを整理しながらがんばっています。先日の町議会での提案を受け、30歳を迎えた方の三十路会や都会から戻ってくる方への支援拡充などを検討しています。

この町で働くために

櫻井佑樹議員

僕は、生まれ育った大好きな大江町に住み続けたいと思っています。



日本では1人です。これからの働き方のヒントが、その辺りにあるのかもしれない。

医療施設を確保する

保科愛議員

町内には1つしか病院や医院がないので、他市町の病院へ通う人が多いと聞いています。町内にもっと病院や医院を増やせば、子どもからお年寄りまで、より安心して暮らせると思います。

副町長

町の総合計画をつくるための町民アンケートの結果を見ると、やはり医療の問題への要望、特に高齢者が困っているという声とかこの状態を解決しようと、2年ほど前に対策委員会をつくり、いろいろ検討をしてきました。町内での開業を実現してくださるお医者さんとは、今のところ巡り会えていない状況です。町の都合だけではできないことなので、もう少し時間



あべみづき
阿部海瑞希 議員
(左沢高校2年)



せいのなごみ
清野和 議員
(大江中学校2年)



せいのねな
清野寧々 議員
(左沢小学校6年)



まつだかいせい
松田快政 議員
(本郷東小学校6年)



かしわぐらまつり
柏倉茉莉 議員
(左沢高校2年)

文化的景観の継承を

佐竹叶夢 議員 重要文化的景観の美しい街並を守るため、「お蔵風」などの景観に合うごみ集積所の設置を提案します。また、空き家などを利用して、観光客や町民の皆さんが気軽に立ち寄れる資料館やお休み処を設けてはどうでしょうか。

町長 本町は東北地方では3番目、県内では最初に重

を頂きたいです。
保科愛 議員 町の対策委員会ではどのような対策をしていますか。

副町長 対策委員会では、老人クラブの方や保護者の代表の方、子育て中の方などいろいろな方に集まっていたいただき、今後の町の診療所やお医者さんについて意見をお聞きしています。その意見をまとめた上で、医療関係者にさまざまな案を提示して進めています。ご要望などがあれば、また聞かせていただきます。



要文化的景観の町に選定されました。そうした価値のある景観ですから、ごみ集積所についてはさまざまな研究をして答えを出したいと思います。空き家についても交流や観光などいろいろな方面から研究をしていて、例えば都会にいる息子さんが田舎のご両親を何らかの形で助けられるような仕組みなど、町も県も国も一生懸命考えているいろんなことをやっています。

佐竹叶夢 議員 重要文化的景観の街並をこれからの時代に受け継いでいくため

人口減少への歯止め

に、町としてどのような活動をしていきますか。
町長 文化を支えるのは人々の考え方ですので、本町の重要文化的景観の街並と建物については、ぜひとも修理をして残していかなければと町民全体が考え、関わりを持つていくことが重要です。

佐藤耕一郎 議員 町の人口は、現在約8千人と、60年前の約半分に減っています。これ以上の減少を防ぎ、町内に若者が残るようにするために、どんな対策をしていますか。また、中学生や高校生のボランティアなどで高齢者の生活をサポートできないでしょうか。

町長 人口減少については、今の仕組みを少し変えて、田舎でもお金が稼げるようにしたいという考え方もあります。ボランティアの話ですが、お金をもらう、もらわないは別にして、他の

人が困ったときには力を貸しましょうということが大切だと考えます。
佐藤耕一郎 議員 現在、そして将来町に住む人のために、工場を誘致するなどして町内で働く場所を増やせないでしょうか。
町長 年金で暮らす方、若者の働き場所、子どもたちの夢、一つひとつ一生懸命考えてやっています。しかし、オリンピック選手でもコーチが要るように、私たちにも町民の声というコーチが必要なんです。今日はすごく良い意見を頂きました。ありがとうございます。



この目出された意見は、提言書として町に提出されました

決算報告

●● 各会計の決算状況 ●●

一般会計

歳入総額	53億 1,135 万円	
町税	7億 9,881 万円	
町税の内訳	固定資産税	3億 6,463 万円
	町民税	3億 4,218 万円
	町たばこ税	4,461 万円
	軽自動車税	2,931 万円
	都市計画税	1,768 万円
	入湯税	40 万円
	地方譲与税	5,819 万円
利子割交付金	142 万円	
配当割交付金	171 万円	
株式等譲渡所得割交付金	153 万円	
地方消費税交付金	1億 5,086 万円	
自動車取得税交付金	1,628 万円	
地方特例交付金	344 万円	
地方交付税	22億 914 万円	
交通安全対策特別交付金	116 万円	
分担金及び負担金	208 万円	
使用料及び手数料	7,361 万円	
国庫支出金	3億 7,128 万円	
県支出金	3億 1,283 万円	
財産収入	1,309 万円	
寄附金	1億 2,479 万円	
繰入金	4億 8,072 万円	
繰越金	2億 2,991 万円	
諸収入	4,700 万円	
町債	4億 1,350 万円	

歳出総額	51億 4,546 万円
議会費	8,222 万円
総務費	12億 9,931 万円
民生費	10億 9,735 万円
衛生費	2億 1,738 万円
労働費	944 万円
農林水産業費	3億 9,417 万円
商工費	1億 2,747 万円
土木費	6億 9,577 万円
消防費	2億 2,370 万円
教育費	5億 450 万円
災害復旧費	1,810 万円
公債費	4億 6,337 万円
諸支出金	1,268 万円

町の財産状況

土地	1,506,661 m ²
建物(延床面積)	60,982 m ²
道路(町道)・橋りょうの延長	209,960 m
車輛	79 台
有価証券など	9,708 万円
積立金(基金)	23億 6,804 万円
温泉権(4件)	3億 4,693 万円

※すべての会計の合計。車輛には除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

特別会計

歳入総額	25億 1,333 万円	歳出総額	24億 1,531 万円
国民健康保険特別会計	9億 568 万円	国民健康保険特別会計	8億 8,439 万円
後期高齢者医療特別会計	1億 399 万円	後期高齢者医療特別会計	1億 176 万円
介護保険特別会計	11億 5,638 万円	介護保険特別会計	11億 40 万円
宅地造成事業特別会計	5,690 万円	宅地造成事業特別会計	4,297 万円
公共下水道事業特別会計	2億 4,492 万円	公共下水道事業特別会計	2億 4,204 万円
農業集落排水事業特別会計	4,546 万円	農業集落排水事業特別会計	4,375 万円

水道事業会計

収入総額	2億 6,956 万円	支出総額	3億 2,472 万円
収益的収入	2億 2,993 万円	収益的支出	2億 2,848 万円
資本的収入	3,963 万円	資本的支出	9,624 万円

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金で補てん

一般会計の主な増減

歳入総額	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率	歳出総額 (性質別)	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
	53億 1,135	55億 9,213	△2億 8,078	△5.0				51億 4,546	53億 6,222	△2億 1,676	△4.0		
町税	7億 9,881	8億 740	△ 859	△ 1.1	人件費	8億 5,143	8億 6,431	△ 1,288	△ 1.5				
地方交付税	22億 914	22億 3,930	△ 3,016	△ 1.3	扶助費	4億 6,042	5億 2,224	△ 6,182	△ 11.8				
国庫支出金	3億 7,128	4億 2,760	△ 5,632	△ 13.2	補助費等	5億 9,269	5億 8,089	1,180	2.0				
県支出金	3億 1,283	3億 3,393	△ 2,110	△ 6.3	公債費	4億 6,337	4億 2,456	3,881	9.1				
繰入金	4億 8,072	3億 5,897	1億 2,175	33.9	繰出金	6億 2,822	6億 4,352	△ 1,530	△ 2.4				
町債	4億 1,350	6億 7,840	△ 2億 6,490	△ 39.0	普通建設事業費	7億 7,950	11億 945	△ 3億 2,995	△ 29.7				

決算規模は、歳入が53億1,135万円(5.0%の減)、歳出は、51億4,546万円(4.0%の減)となりました。前年度との比較で減となった主な要因は、歳入は繰入金が増加した一方で、国庫支出金や町債などが減少したため、全体では減となっています。また、歳出は統合保育所整備事業の完了などにより投資的経費が減少したことが要因となっています。

平成30年度の一般会計と各特別会計の決算が町議会12月定例会で認定されました。一般会計と6つの特別会計の総額は、歳入が78億2,468万8,788円、歳出が75億6,077万4,179円となりました。その概要をお知らせします。

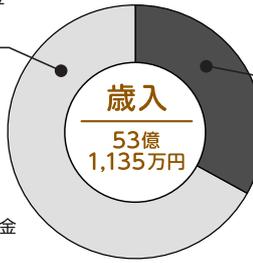
収支決算（一般会計）

依存財源

国・県から交付されたり、借入れたりしたお金

66.7%

- 35億4,133万円
- 地方交付税
- 国庫支出金
- 町債●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金●株式等譲渡所得割交付金



自主財源

町が自主的に収入できるお金

33.3%

- 17億7,002万円
- 町税
- 繰入金●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入●財産収入
- 寄附金
- 分担金及び負担金

その他の経費

50.0%

- 25億7,228万円
- 補助費等●物件費
- 維持補修費●繰出金
- 積立金●その他

投資的経費

建設工事などに使ったお金

15.5%

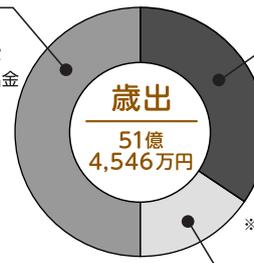
- 7億9,796万円
- 普通建設事業費●災害復旧事業費

義務的経費

支出が義務付けられているお金

34.5%

- 17億7,522万円
- 公債費
- 人件費
- 扶助費



※引上げ分の地方消費税に係る6,756万円については、社会保障施策に要する経費13億4,788万円に係る一般財源8億8,103万円に充当しました。

主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区分	28年度	29年度	30年度
財政力指数	0.27	0.27	0.28
経常収支比率	81.4%	81.3%	84.7%
公債費負担比率	10.8%	11.0%	12.0%

一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区分	28年度末	29年度末	30年度末
発行（借入）額	8億4,610	6億7,840	4億1,350
元金償還（返済）額	3億9,350	3億9,472	4億3,789
年度末残高	56億5,141	59億3,509	59億1,070

各特別会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

会計区分	28年度末	29年度末	30年度末
公共下水道事業特別会計	19億3,923	18億973	16億8,242
農業集落排水事業特別会計	2億4,413	2億2,743	2億1,040
水道事業会計	8億117	8億1,298	8億1,669
合計	29億8,453	28億5,014	27億951

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指数として用いられ、数値が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

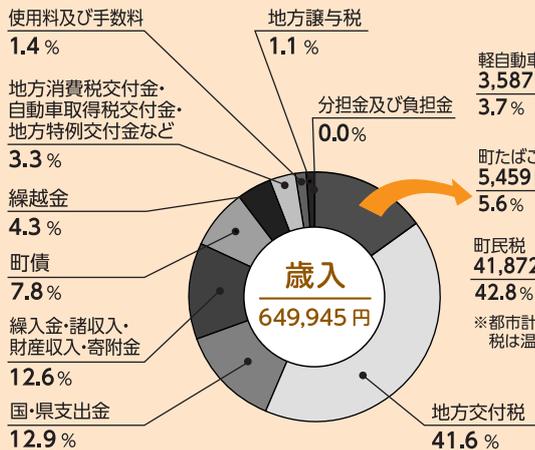
※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの用途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

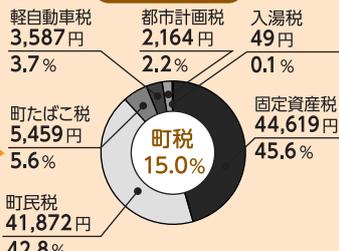
町民一人あたりの歳入と歳出

町の人口 / 8,172人

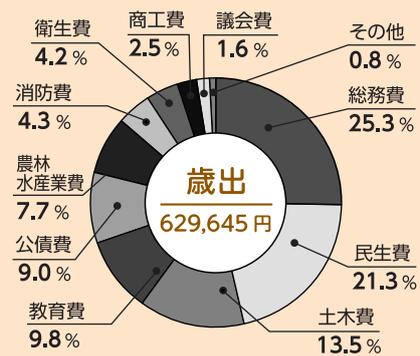
(平成31年3月31日現在・住民基本台帳人口)



町税の内訳



※都市計画税は下水道事業会計繰出金など、入湯税は温泉施設改修などに充当しました。



歳入	649,945円
地方交付税	270,330円
町税	97,750円
国・県支出金	83,714円
繰入金・諸収入・財産収入・寄附金	81,448円
町債	50,600円
繰越金	28,134円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	21,586円
使用料及び手数料	9,007円
地方譲与税	7,121円
分担金及び負担金	255円
町民一人あたりの町債残高（一般会計）	723,287円

歳出	629,645円
総務費	158,995円
民生費	134,282円
土木費	85,141円
教育費	61,735円
公債費	56,702円
農林水産業費	48,234円
消防費	27,374円
衛生費	26,601円
商工費	15,598円
議会費	10,061円
その他	4,922円

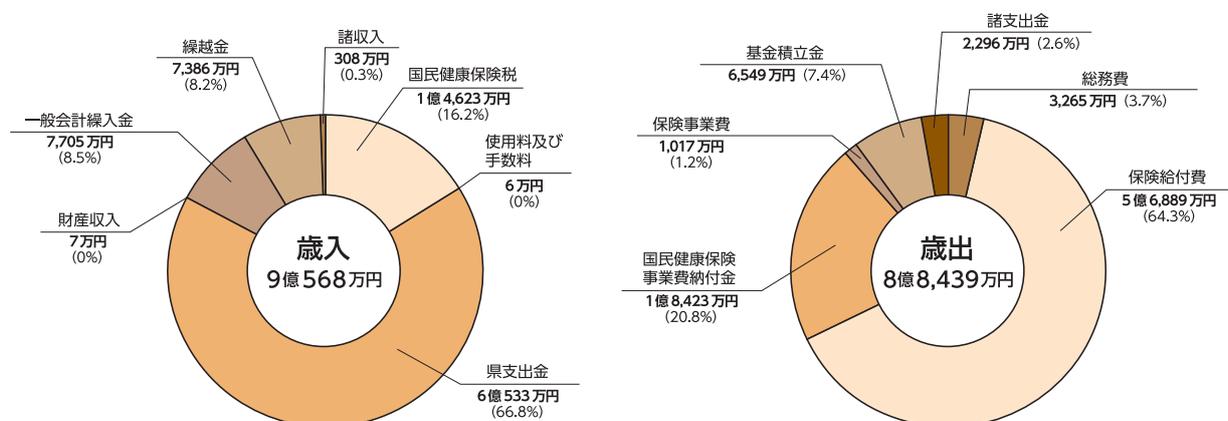
平成30年度の 国民健康保険事業の 運営状況をお知らせします



国民健康保険は、病気やケガをしたときに安心して医療を受けることができるよう、加入者である皆さんが国民健康保険税を出し合い、お互いを助け合う制度です。

さらに平成30年4月より国民健康保険法が改正され、国の財政支援が大幅に拡充され、都道府県が財政運営の責任主体となり市町村と共同で国民健康保険を運営することとなりました。

1 平成30年度国民健康保険特別会計決算の状況



平成30年度の決算額は、歳入総額が9億568万円、歳出総額が8億8,439万円となりました。国保税率の改正や県との共同運営により、前年度比で歳入が1億2,216万円の減、歳出が6,959万円の減となっています。県と市町村が一体となって運営することにより、全体的に縮小されています。

国民健康保険運営に要する費用は、保険給付に要する経費、県に納付する国保事業費納付金、特定検診やさわやか健康推進事業などの保健事業に要する経費、人件費などの事務的経費に大別されますが、これらの費用は、みなさんの国保税（1億4,623万円：対前年比18.5%減）、県支出金（6億533万円：対前年比5億6,313万円増）、一般会計繰入金（7,705万円：対前年比9.9%の減）などの歳入で賄われています。

歳出に占める割合が最も大きいのが保険給付費（医療費）であり、5億6,889万円で全体の64.3%。さらに平成30年度から新設された国民健康保険事業費納付金は1億8,423万円で20.8%を占めました。

基金積立金は、歳入・歳出差引残額から6,549万円を積み立て、30年度末残高が2億9,399万円になりました。

○決算額の推移

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①歳入総額	9億6,288万円	10億6,288万円	10億2,468万円	10億2,784万円	9億568万円
②歳出総額	8億7,911万円	9億3,088万円	9億4,800万円	9億5,398万円	8億8,439万円
③歳入歳出差引(①-②)	8,377万円	7,299万円	7,668万円	7,386万円	2,129万円
④翌年度精算額(交付・返還額)	△1,023万円	161万円	△802万円	△2,129万円	△366万円
⑤基金繰入額(取崩額)	0万円	0万円	0万円	0万円	0万円
⑥基金積立額	2,185万円	816万円	1,673万円	4,715万円	6,549万円
⑦実質単年度収支(③~⑥合計-(前年の③+④))	2,332万円	922万円	1,077万円	3,106万円	3,055万円
⑧基金残高(年度末)	1億5,647万円	1億6,463万円	1億8,136万円	2億2,850万円	2億9,399万円

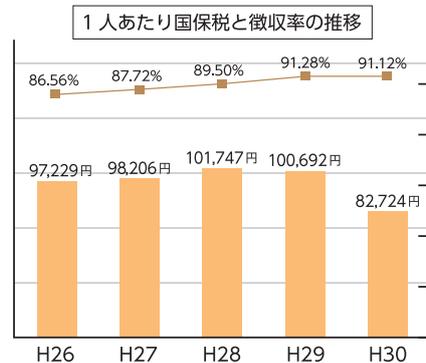
※表示単位四捨五入のため、金額の収支などが一致しない場合があります。

2 国民健康保険税の推移

国民健康保険事業は、皆さんからの国民健康保険税で支えられています。

平成 30 年度は、税率を改定したことにより調定額が大幅に減少し、1 人あたり 82,724 円（前年度比 17,968 円減）となりました。収納率（調定額に対する収納額の割合）は、91.12%（前年比 0.16% 減）になりました。

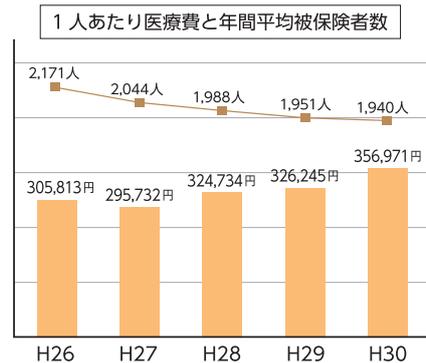
今後も国保制度の健全な運営を支えるため、国保税の期限内納付をお願いします。



3 医療費の推移

本町の医療費は、高齢化・医療の高度化などにより、平成 30 年度 1 人あたり医療費は 356,971 円（対前年比 30,726 円増）になりました。医療費の増加は、国保事業費納付金に反映され、国保財政を圧迫し、保険税の引き上げを招きます。

医療費抑制のため健康診断や各種健康教室を積極的に利用し、毎日の生活に運動・食事・休養をバランスよく取り入れ、生活習慣病の予防や早期治療を心掛けてください。

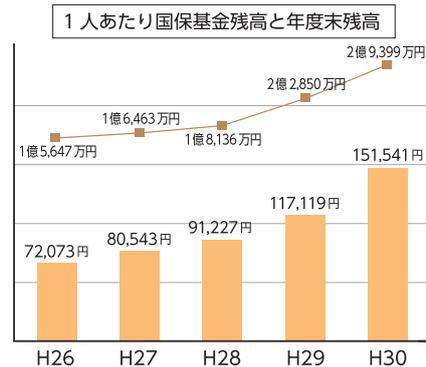


4 国民健康保険基金残高の推移

基金は、国民健康保険事業の安定的な運営のために、歳入不足に備えて繰越金などの剰余金を積み立ててきたものです。

平成 30 年度の基金残高は、制度改正による剰余金を積み立てることができ、2 億 9,399 万円（対前年比 6,549 万円増）になりました。

今後は、医療費の増加による国保事業費納付金などの歳入の増、被保険者数の減少や高齢化による低所得者層の増加による国保税などの歳入の減が見込まれ、令和元年度からは基金を取り崩し対応する必要があります。安定的な運用のため、一定額の基金を確保しながら活用していきます。



医療費を抑えるポイント

① 1年に1回、健康診断を受けましょう

年に1回、健康診断を受けて自分の健康状態を把握し、病気の早期発見・早期治療に役立てましょう。

国保加入者で節目年齢対象者には健診受診クーポン券をお送りしています。ぜひご利用ください。

②「健康教室」に参加しましょう

町では、「健康づくり講演会」「地区健康教室」「健康相談」「生活習慣病予防教室」など健康づくり事業をおこなっています。健康増進のため、積極的に参加しましょう。

③ 温泉を上手に利用しましょう

良質な温泉の効能を利用して、日々の健康づくりに役立てましょう。町では、町内の温泉施設を利用する 40 才以上の方に入浴料の 3 分の 1 を助成しています。ぜひご利用ください。

④ 信頼できる「かかりつけ医」をもちましょう

病歴や体質を把握しているため、すばやく対応してもらえます。また、健診結果を報告すれば、生活改善のアドバイスを受けることができます。精密検査が必要なときは専門医も紹介してもらえます。

⑤ 自己判断での重複受診はやめましょう

注射や投薬、検査、処置などをやり直すため、体にとっても危険で、医療費の無駄づかいにもなります。

⑥ 薬のもらいすぎに注意しましょう

薬は正しく服用しなければ、効果が得られないばかりか症状が悪化することもあります。薬をたくさん欲しがりますが、医師の診断を信頼し、処方された用量・用法を必ず守りましょう。

交通事故などにあつたときは「第三者行為による傷病届」をお忘れなく！

交通事故をはじめ、第三者の行為によって傷病を受けた場合にも、保険証を使って治療を受けることができます。一時的に国保が治療費の支払いを立て替えて、あとから国保が加害者に請求をします。このような場合は、税務町民課国保医療係に必ず届け出るようにしてください。

令和元年度 町政功労者 表彰

今年度の町政功労者表彰式が、1月6日に中央公民館で開かれました。町政の発展や町の社会福祉など、各分野において町政振興のためにご活躍された受賞者の皆さんを紹介します。



小野 祐一さん
(富沢)

5期20年の永きにわたり町議会議員として地域の振興に寄与するとともに、うち7年6カ月間、町議会議長として議会の運営や改革など町政の充実発展に貢献されました。



菊地 敏美さん
(深沢)

21年の永きにわたり町農業委員会委員として町の農業振興に寄与されるとともに、うち12年間会長として会の運営などに尽力され、町政の充実発展に貢献されました。



阿部 浩昭さん
(所部)

10年の永きにわたり所部区長として地域の振興に寄与するとともに、町政の充実発展に貢献されました。



松田 久仁実さん
(寒河江市・貫見出身)

33年の永きにわたり町体育指導員およびスポーツ推進委員として尽力され、本町の体育の振興発展に貢献されました。



岡田 悠さん
(蛭水)

全国高等学校総合体育大会陸上競技大会において3年連続で入賞するなど優秀な成績を収め、町の体育振興に寄与されました。

◎ 教育・学芸・体育・文化功労

12年の永きにわたり、町民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



安藤 美智子さん
(10区)

12年の永きにわたり、町民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



毛利 信枝さん
(望山)

12年の永きにわたり、町民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



庄司 賢治さん
(12区)

15年の永きにわたり、町民生児童委員として社会福祉の増進に寄与するとともに、地域における福祉の向上に貢献されました。



渡辺 かずみさん
(塩野平)

亘理町新庁舎・保健福祉センター開庁 本町から記念品を贈呈



▲ 亘理町新庁舎・保健福祉センターの外観
◀ 本町から贈呈した西山杉製のベンチ

昨年11月末に竣工した宮城県亘理町の新庁舎と保健福祉センターの開庁式が、1月9日に開かれました。

新庁舎と保健福祉センターは、JR亘理駅の東側に立地。東日本大震災からの復興のシンボルとして、より親しみやすく地域に開かれた庁舎を目指としています。

物産などを通じて亘理町と交流している本町からは、渡邊町長が1月9日の開庁式に出席。町産の西山杉製ベンチ8基を記念品として贈呈し、新庁舎の開庁を祝いました。



▲ 1月9日におこなわれた新庁舎・保健福祉センター開庁式の模様

6市6町の連携による魅力ある圏域づくり「山形連携中枢都市圏」

本町を含む村山地域6市6町（大江町、山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町）で構成する「山形連携中枢都市圏」の連携協約締結式が、1月9日に山形市の山形グランドホテルで開かれました。このたびの連携協約は、山形市と他の5市6町との間でそれぞれ結ばれたもので、圏域の経済成長の促進や、医療、公共交通、地域の人材育成、福祉、子育て支援などの充実を目指し、連携して取り組みを進めていくことを定めています。

締結式で、佐藤孝弘山形市長は「この連携が地域の大きな基盤となることを目指し、各市町と協力して実のある取り組みをおこなっていききたい」とあいさつ。その後、佐藤市長と各市町の代表が個別に協約書に署名し、連携協約を取り交わしました。

山形連携中枢都市圏の構成市町は、令和2年3月末までに圏域の将来像や具体的な連携事業を盛り込んだ「山形連携中枢都市圏ビジョン」を策定・公表し、令和2年度から連携事業を開始していきます。

◎連携協約で定める取り組み一覧

1 圏域全体の経済成長のけん引
連携中枢都市圏ビジョンの策定、進捗管理など
企業支援、雇用の確保など
販路拡大の推進など
広域観光の促進など
2 高次の都市機能の集積・強化
医療の充実など
広域交通ネットワークの検討など
地域の人材育成
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
(A) 生活機能の強化に係る政策分野
福祉の充実
子育て支援センターの相互利用
地域振興
(B) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
移住定住の促進
(C) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
圏域内市町の職員研修など



▲1月9日の締結式で連携協約を締結した6市6町の代表

◎「連携中枢都市圏」とは

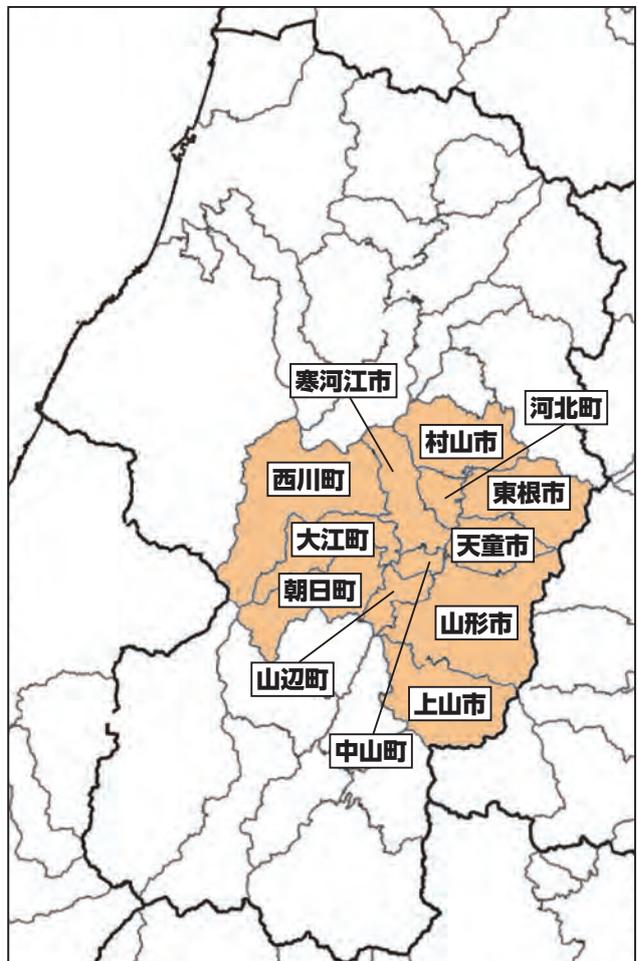
市町村同士が連携して経済の活性化や都市機能の強化、生活サービスの向上を図ることを目的に形成する圏域であり、中心となる都市（連携中枢都市）と近隣の市町村との間で連携協約を締結し、それに基づいて連携した取り組みをおこなうものです。

◎「山形連携中枢都市圏」圏域の概要

◆総人口／527,214人（平成27年国勢調査より）

◆総面積／2167.67km²（各市町公表値より）

※いずれも圏域6市6町の合計値



白地図出典：国土地理院「地理院タイル」

令和元年度 体育協会表彰



表彰式に出席された皆さん

本町のスポーツの普及と振興に功労があった方や、競技成績の優秀な方を表彰する大江町体育協会表彰が、1月26日に体育センターでおこなわれました。今年度は6名の方が表彰され、1名に感謝状が贈られました。

☆殊勲賞…町・県を代表して全国大会に出場し入賞された方、県大会で優勝された方

☆奨励賞…県大会で上位入賞を果たされた方

☆感謝状…本町のスポーツの普及と振興に多大な貢献をされた方

〔殊勲賞〕

岡田 悠さん (蚩水)

山形中央高校3年、第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会女子4×100メートルリレー第8位、第13回U18日本陸上競技選手権大会女子4×100メートルリレー第4位、第74回東北高等学校陸上競技大会女子4×100メートルリレー第1位(大会新記録)、同女子100メートル第2位

佐藤龍之介さん (下北山)

寒河江高校2年、令和元年度第10回東北高等学校新人力又ースプリント選手権大会C・1500メートル第1位

大泉真尋さん (小漆川)

東海大山形高校3年、令和元年度山形県高等学校駅伝競走大会第1位

〔奨励賞〕

大沼千恵さん (蚩水)

大江町グラウンドゴルフ協会、第27回山形県スポレクグラウンドゴルフ大会第2位

藤野真矢さん (9区)

山形南高校2年、令和元年度山形県高等学校総合大会卓球男子学校対抗第2位、令和元年度山形県高等学校新人卓球大会男子学校対抗第3位

渡邊 丈さん (藤田)

山形工業高校1年、令和元年度山形県高等学校新人卓球大会男子学校対抗第3位

〔感謝状〕

駒林義雄さん (4区)

大江町ラージボール愛好会会長を7年間、副会長・理事を9年間務められ、競技の普及と発展に尽力されるところに、卓球連盟会長、顧問も歴任され、本町の卓球の振興に大きく貢献されました。

INFO

新しい民生委員・児童委員をご紹介します 【6区・7区、藤田(下地区)、美郷】

1月9日付けで厚生労働大臣より新たに3名の方が委嘱されました。任期は令和4年11月30日までとなります。12月1日付けで委嘱された方(広報おおえ令和2年1月号掲載)と合わせて36名の民生委員・児童委員が、町内各地区で皆さんの身近な相談役となって活動します。

新任	委員氏名	担当区域	電話番号
☆	小国 正子	6区、7区	☎(6 2)3 9 1 2
☆	阿部 光子	藤田(下地区)	☎(6 2)4 3 5 7
☆	伊藤 多美子	美郷	☎(6 2)5 3 8 1



☎健康福祉課福祉係 ☎(6 2)2 2 8 5



▲町オリジナル絵本「プクちゃんのぼうけん」の一場面



▲旧最上橋を背景にした表紙

12/23 絵本の世界で町を巡る

町教育委員会が町誕生60周年記念企画として制作を進めてきたオリジナル絵本が、昨年冬に完成しました。この絵本は鶴岡市出身の絵本作家・つちだよしはるさんの手によるもので、題名は「プクちゃんのぼうけん」。ヤマガタダイカイギウのプクちゃんが町内を巡り、町の名所や特産品、文化的景観などの魅力に出会うという内容です。

12月23日にはにじいろ保育園でお披露目会が開かれ、犬飼教育長が読み聞かせをおこないました。絵本に接した園児は「プクちゃんがかわいかったので、また読んでみたい」と話していました。



▲犬飼教育長の読み聞かせで、絵本が披露されました



1/11 「昔ながら」を一緒に楽しむ

子育て支援センター「ぱれっと」の交流イベント「だんご木飾り交流会」が、1月11日に開かれました。この交流会には35人の親子連れのほか、地域の老人クラブの方なども参加。一緒に折り紙でかぶとや奴、だるまなどを作り、だんごとともにミズキの木に飾り付けました。

だんご木飾りの後は、老人クラブの皆さんがこま回しやお手玉といった懐かしい遊びを伝授。昔ながらの玩具に子どもたちはすぐに夢中になり、こまの上手な回し方やお手玉のコツを教えてもらいながら、何度も挑戦していました。



1/25 冬は格別！あつあつピザ

町教育委員会主催の放課後子ども教室「ドキドキ!!自然体験塾」が、1月25日に朝日少年自然の家で実施されました。今回は町内の小学生23人が参加。少雪の影響により、スノーチューブすべりの代わりに「段ボールピザ作り」に挑戦しました。

子どもたちはグループごとに協力して作業をおこない、段ボールにアルミホイルを貼った簡易かまどが無事に完成。やがてチーズやツナなどの具材を載せた生地が段ボールかまどの炭火で焼き上がると、子どもたちはおいしそうな香りを漂わせる本格ピザに目を輝かせていました。



1/26 掛け声合わせて百人力!

第27回町民つなひき大会が、1月26日に体育センターで開催されました。今回は男子の部・男女混合の部合わせて13チームが参加し、各チームとも地元の応援団の声援を受けて奮闘。男子の部では、本郷東Aチームが8連覇を達成しました。

大会結果

◇男子の部

優勝 / 本郷東A
準優勝 / 本郷西
第3位 / 本郷東B、本郷東C

◇男女混合の部

優勝 / 本郷東
準優勝 / 藤田A
第3位 / 藤田B



1/26 温かさあふれる旧正月

旧暦1月2日恒例の「旧正初市」が、1月26日に中央通り商店街でおこなわれました。今年の初市は日曜日と重なり、また例年になく過ごしやすい暖冬ということもあって、だんご木や初詣といった正月の縁起物の露店が立ち並ぶ商店街に、町内外から多くの来場者が集まりました。

駐車場では商店街の皆さんにより豚汁が無料で振る舞われ、用意した400食分が昼前になくなる盛況ぶり。お好み焼きやから揚げを買い求める親子連れや、くじ引きなどを楽しむ子どもたちの姿もあり、例年以上のにぎわいを見せていました。



1/26 おいしく楽しい冬マルシェ

6回目を迎える「左市」が、1月26日にまちなか交流館「ATERA」で開催されました。今回は、ピザやドーナツ、コーヒー、野菜、雑貨・小物などを扱う9つのブースが町内外より出店。同日に旧正初市が開催中ということもあり、親子連れや友人同士など600人を超える来場者が詰めかけ、冬のATERAマルシェを堪能しました。

天童市から出店の「3時のおやつ」ブースでは、プリン型のメモスタンド作りが体験でき、子どもたちはビーズや小物での飾り付けに熱中。カラフルに仕上がった作品の出来にご満悦でした。



1/2 優しい音色に癒されて

教育文化振興基金活用事業「ふれあいコンサート～フルート四重奏のしらべ～」が、2月2日に中央公民館で開かれました。今回は、ヴィオラ奏者の倉田譲さん（みなみ）が所属する山形弦楽四重奏団と、山形交響楽団フルート奏者の小松崎恭子さんが共演。約180人の来場者が、フルートと弦楽器の優美なハーモニーに酔いしれました。

曲目はクラシックから映画音楽まで多岐に渡り、信時潔作曲の本郷中学校校歌を独自に編曲した演奏も披露。よみがえった懐かしい曲に、同校出身の来場者は口ずさみながら聞き入っていました。

1月11日、1が3つで縁起もいいな、ただ外は真つ暗だが、深い考えもないままで、なぜか車に乗った。西の方に向かって、行き止まりまでの一本道から右へ、左へ。ライトが照らす部分には雪がない。こんな事があったな、あの人と此処で会ったな、「あんなこと・こんなこと」が言葉や一枚の写真になつて浮かんでくる。東に向かうが、まだまだ夜中で真つ暗、途中から南に、南から北へ、そして東に……町中を車で、あちらこちらに走っていた、文字通り夢中だが、じつにゆっくりと。明かりの見たお宅はホンの数軒、走っていた車も数台、「眠っている大江町」の真夜中ドライブとなった。「あの方・この方・その方」の生き生きした言葉と姿が浮かんで消えていく、あの笑顔、きらきらした真剣なお顔、日焼けした逞しい姿……。振り返れば12年間、「あの人・あの時・あの所」で、「二度も意地悪な言葉を頂いたことがない」、元気の元になるような言葉ばかりであった。峰々を縦走する厳しい登山の途中で交わし合う「励ましの挨拶こんにちは」のような子どもたちからの挨拶、経験豊かなお年寄りの温かい言葉、若い青年諸君の単刀直入の激励言葉……多くの方々の「あの声」が、夜空や道路脇から、田んぼや畑から聞こえてきて、一瞬シーン……。

あの星は 暖かな風 吹かせてと
 教えてくれた あのおばあちゃん

1月10日午後、「被選挙人には手を挙げない」と発表させていた12時間後の「ありがとうございました感謝ドライブ」、気が付けば家の前に車が着いていた、なんと、愛猫——わけおくんのお出迎え。

最後のコラムになりました。思いのままの「切り口」で書かせていただきました。師曰く、愛を書くには憎しみを書け、希望を表すには絶望を表せ、正を示すには誤を示せ……と。なれど文字の公開には「誤解と理解」が含まれてしまいます。正直には書かせていただいたつもりでも、筆力がないため、真意をお伝えできなかった表現もありました。勝手気ままな男の戯言としてサラサラと水に流していただき、お許しください。理解たまわりますように。

わかる明日 明後日見られる 今なれど
 光届けて 未来見られよ

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.60



以前に近所の方から町内の山を教えていただいた時に「むかご」を見つけ、茎も太かったため、この下にはいい山芋があるのではないかと、根元にテープを巻いて印を付けていました。12月に入ってそのことを思い出し、山芋掘りに行ってきました。茎が切れないよう慎重に掘り始めたところ、1メートルほど掘ったところで山芋が見え、下の方に長く伸びた芋や手のひらの形の芋を掘ることができました。とろろにしたり、天ぷらにしたりして近所の方と食べてみたところ、唇ががゆくなるほどとても味が濃く、おいしくいただきました。地域おこし協力隊になって1年が経ちました。今後ともよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊 岸 政宗



▲手のひらの形をした、ちょっと珍しい山芋も見つけました

短歌

楯山のおずまやに立ち眺むれば眼下流るる川は太平 宇津江雅人
 伏熊の阿弥陀座像や中世の護真寺館の守り本尊 柳川 次郎
 冬なれど穏やかな日和義姉さんは九十八年の生を全す 佐竹磨砂湖
 四歳の姉といるのが嬉しくて小さき弟アハアハ笑う 山家 重之
 老い吾のデマンドを待つ手提には友との約束紅の干柿 菊地つねよ
 令和の賀おだやかにして雪降らず老いて願うはこれからのちも 佐竹 與鼓
 若き日に軍歴のある吾にして「二十四の瞳」涙して読む 斎藤 徳治

俳句

八三歳五年記求む冬日和 鴨田富士夫
 煩惱を掃ひ切れずに初詣 柳川 次郎
 晩秋に友逝き弔歌捧げけり 斎藤 徳治
 声だけの雀をさがす枯野かな 山家 重之
 そろりそろり運ぶ生ごみ氷る朝 熊谷 勉
 仏像の耳は福耳冬日射す 舟山 三男
 月山の寒九の水を貰ひけり 伊藤 啓泉

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

吟遊浪漫

ぎんゆ うろまん



Youthful
★ ★ ★ ★ ★
トーク

祖父から続く庭師の家業を受け継いで、現在主に父と二人で仕事をしている菊地さん。小学生のころ、仕事中の祖父を学校帰りに見掛けることがあり、その姿にあこがれていたそうです。

「昔、祖父が庭の設計図を作っていた時、建物の位置や玄関の向きに合わせて庭木や石を配置していました。庭は家との調和が大切なんだと、それで学びました」

休みの日には友人と一緒にバイクでよくツーリングに出掛け、時には県外に足を伸ばすことも。スピードを直に体感できるのが魅力だといいます。

「バイクに乗っていると、まるで風になったような心地がします。いつか北海道の道を走ってみたいです」

家を建てる際、庭にこだわらない人が多くなっている昨今。今後、もっとたくさんの人に庭に興味を持ってもらえるようにしたいと、菊地さんは意気込みます。

「そのためにも日々精進して技術を磨き、お客さんに認められるような庭師になろうと思っています」

菊地 章人さん (23歳・藤田)

庭の魅力を伝えていくために

シリーズ企画

月刊 **仲間とエンジョイ!**

No.33

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

ビッグカントリーオーケストラ
バンドマスター：室岡彰さん(市の沢)

ビッグバンドは、管楽器とリズム楽器で構成されるジャズバンドの一形態で、演奏曲はジャズのほかポップス、演歌など多岐に渡ります。西村山地域唯一のビッグバンドであるビッグカントリーオーケストラは、左沢中学校吹奏楽部OBにより結成されました。町の文化祭やひなまつりコンサートをはじめ、各種式典やパーティーなどさまざまな場で演奏を披露しています。

「高校生からベテランまで一緒になって熱中できることはなかなかないので、毎回楽しんで音楽をやっています」と話す、バンドマスターの室岡さん。楽器経験者、初心者問わず、一緒に音楽を楽しむ仲間を歓迎します。



▲ビッグカントリーオーケストラのメンバー



▲9月29日に朝日町でおこなわれた「りんごの森記念コンサート」の様

お知らせ

Information

プレミアム付商品券の販売期限 および利用期限について

プレミアム付商品券の販売期限および利用期限は、3月1日(日)です。3月2日以降の購入・利用はできませんので、お早めにご利用ください。※土・日・祝日は販売しませんが、3月1日(9時～15時)は商品券を販売します。

◆商品券販売場所／大江町商工会
※購入引換券を持参の上購入してください。なお、購入引換券交付申請(住民税非課税の方のみ必要)の受付はすでに終了しています。
※商品券は町内の商店などで利用できます。利用可能店舗の詳細については町ホームページをご覧ください。
☎政策推進課起業推進係

令和2年度大江町手話奉仕員 養成講座のご案内

日常生活を中心とした手話、聴覚障害、聴覚障害者の生活や関連する

☎(62) 2139

福祉制度などについて学習する講座を開催します。初心者の方も初歩から学べる内容です。興味や関心のある方、ぜひご参加ください。

◆期日／4月上旬～12月上旬までの毎週火曜日(全33回予定)
※詳細な日程については受講者へお知らせします。

◆時間／19時～21時

◆会場／ふれあい会館

◆対象者／町内にお住まいの高校生以上の方、町内にお勤めの方

◆募集定員／20人(定員を超えた場合は抽選となります)

◆受講料／無料

※テキスト代3300円(税込)は自己負担となります。

◆申込方法／受講申込書に記入の上健康福祉課へ提出(FAX可)

◆募集締切／3月18日(水)必着

※受講申込書は健康福祉課窓口に用意しています。また、町ホームページからダウンロードすることもできます。

☎健康福祉課福祉係 ☎(62) 2285

介護教室を開催します

介護しているご家族や、介護に興味のある方を対象に介護教室を開催

します。

◆日時／2月21日(金)10時～11時半

◆会場／中央公民館多目的ルーム

◆内容／講師を交えた介護体験などの話し合い、福祉サービスの紹介

◆講師／らふらんす大江総括主任兼生活相談員 松田誠氏

◆申込／2月19日(水)まで電話でお申し込みください

☎地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎(84) 1495

ひとり親家庭に 卒業・入学祝金を支給します

ひとり親家庭などの保護者に、子どもの健やかな成長を願って、卒業・入学祝金を支給します。該当する方は、申請期間内に申請してください。

◆支給対象者／町内に住所を有するひとり親家庭などの保護者

【卒業祝金】令和2年3月に中学校を卒業する生徒

【入学祝金】令和2年4月に小学校または中学校に入学する児童・生徒

◆支給額／児童・生徒1人につき1万円

◆申請方法／健康福祉課にある申請書に保護者名義の口座番号など所定の事項を記入し提出

◆申請期間／◎卒業祝金：2月14日(金)～3月6日(金)、◎入学祝金：4月1日(水)～14日(火)

☎健康福祉課子育て支援係

☎(62) 2285

特別養護老人ホーム大寿荘 警備員を募集します

◆募集人員／警備員1人(嘱託職員)

◆応募条件／18歳以上おおむね65歳までの健康な方(資格要件なし)

◆業務内容／施設の警備業務(夜間における施設の巡視など)

◆勤務場所／特別養護老人ホーム大寿荘

◆勤務時間／17時～翌日8時半(仮眠時間あり、実質勤務4時間、1日交替で月15回の勤務)

◆雇用期間／令和2年3月31日まで※4月1日以降、契約更新の可能性がありません。

◆給与／勤務1回あたり9610円※その他通勤キロ数により通勤手当が支給されます。

◆社会保険／健康保険、厚生年金保険、雇用保険および労災保険に加入

※勤務年数に応じて退職手当が支給されます。

☎特別養護老人ホーム大寿荘

☎(62) 4328

無料調停相談会の開催について

- ◆日時/3月2日(月)13時~16時受付
- ◆会場/山形市男女共同参画センター「ファアラ」(山形市城西町)
- ◆相談内容/民事関係(金銭、交通事故、土地建物、相隣関係など)、家事関係(夫婦、親子、扶養、相続、財産分与など)
- ◆相談員/裁判所の民事・家事調停委員
- ※事前の申込は不要です。当日直接会場にお越しください。
- ※お電話の際は、調停相談に関する

「ふれあい看護体験」参加者募集

- お問い合わせである旨お伝えください。
 ☎山形地方裁判所総務課庶務係
 ☎023(623)9511
- どなたでも看護の仕事を経験することができます。病院や福祉施設での患者さんたちとのふれあいを通して、命や医療、看護について考えてみませんか。
- ◆期日/①5月12日(火)~26日(火)、②7月28日(火)~8月7日(金)の施設実施日
 - ◆体験できる施設/県内の病院、診療所、福祉施設、訪問看護ステーションなど
 - ※実施施設に関しては、山形県看護協会ホームページをご覧ください。
 - ◆対象/一般の方
 - ◆応募方法/高校生は学校を通じて、その他の方は電話で申込
 - ※後日、申込書などの書類を送付します。
 - ◆申込期限/2月21日(金)
 - ※施設ごとの定員により体験施設を調整させていただくことがありますので、ご了承ください。
 - ☎(公社)山形県看護協会
 ☎023(685)8033

令和元年度 大江町老人芸能大会

老人芸能大会は、会員の皆さんが生活のうおいのひとつとして親しんできた各種芸能を披露していただくものです。入場は無料です。



- ◆日時/2月21日(金) 9時半~13時
- ◆会場/中央公民館町民ホール
- ◆出演者/老人クラブ会員、にじいろ保育園園児ほか
- ◆演目/歌謡曲、民謡、舞踊、その他芸能一般
- ◆主催/町老人クラブ連合会
- ◆後援/町、町議会、町社会福祉協議会
- ☎大江町老人クラブ連合会事務局(大江町社会福祉協議会内)
 ☎(83)4127

善意いただきました

大江町キリスト教会より、昨年11月23日に開かれたクリスマスチャリティーコンサートの収益金12万1千円を、東日本大震災で被災された方への義援金として寄付していただきました。義援金は、日本赤十字社を通して被災者へ届けられます。



久々に降った大雪から一夜が明けると、澄み切った青空の下に現れたのは、町をぐるりと取り巻く山々の、白粉をまぶしたような雪化粧。久しぶりに見たような光景に、安堵にも似た感慨をおぼえました。暖冬・少雪がこれからどんな影響をもたらしていくのか分かりませんが、春夏秋冬それぞれの景色が「いつもの顔」でいてくれた方が、何かと安心できるのは確かかなようです。
 (伊藤智治)

雪がない、もう2月だというのに「—みたいな書き出しでいい」と考えていたら、急に大雪が降ってきました。いつコレを書いているのか、バレバレですね。

雪下ろし、雪片づけ、雪道の運転、エトセトラ。冬の日常の大変さを考えれば、まったく雪が積もらず春になってくれたらこんなに良いことはないんですが、「そりゃ困る」という方々も大勢いらっしやるわけです。冬のイベントやウィンタースポーツは当然大打撃を被りますし、雪かきグッズも売れなくなるでしょう。小鳥山スキー大会が中止になって、私も困りました。来月号のネタがない。いつそ「雪がない」ことをネタにしてやろうかと思ったら、今度は途端に降ってくる始末。編集後記のネタにはなったので、まあ良しとしますが。

MADE メイドイン IN おおえ

匠の技から最先端技術まで——ふるさとのモノづくりを担う町内企業と、そこで働く若い力をご紹介します。



VOL.1 株式会社 まるきち 丸吉製作所

- ◆住所 大江町大字藤田799-3
- ◆代表者名 公平吉雄
- ◆設立 昭和55年 所部地内にて創業
昭和62年 有限会社丸吉製作所へ改称
平成4年 藤田工業団地へ移転
- ◆従業員数 10人
- ◆主な業務 スチール、非鉄金属（アルミ、ステンレス、しんちゅう真鍮）の加工、溶接および曲げ加工、塗装

藤田工業団地第1号企業として工場を構えた丸吉製作所。博物館や資料館のモニターカバーや展示ケース、食品会社向けのタンクなど、幅広い分野の金属製品を手掛け、県外からの仕事の受注も多いそうです。

「うちで作っているのは、すべて一品もの。他のどこでもやらないことをしているからこそ、今もこうして続けていただけるのだと思います」と胸を張る、社長の公平吉雄さん。入社5年目の板垣雄大さんによると「口調は厳しいけれど、面倒見が良い人」だそうです。「いつか先輩方のように、全体を見通して的確な指示を出せるようになりたい」と語る板垣さん。公平さんとフレッシュな従業員との絆が力となり、今日も唯一無二の製品が工場内で生まれています。



▲塗装された製品の一部



▲代表取締役の公平吉雄さん(左)と、入社5年目の板垣雄大さん(右)

戸籍のまど

12月16日～1月20日受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
小漆川	佐藤 陽二	(85)
藤田	松田ウメ子	(80)
8区	菊地つた子	(96)
深沢	菊地 良一	(86)
小見	伊藤 茂弥	(89)
藤田	渡邊 久子	(89)
8区	白田信三郎	(94)
藤田	大沼 辰美	(91)
6区	松田 さと	(96)
三合田	柏倉 運一	(92)
1区	柏倉 恒雄	(98)
市の沢	清野 惣一	(85)
上北山	鈴木ちよ子	(91)
小見	鈴木 弟吉	(81)



人口と世帯(前月比)

町の人口	7,991人(-16)
男	3,983人(-12)
女	4,008人(-4)
世帯数	2,888戸(-2)

令和元年2月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。